

1年間を通しての振り返り（活動名：（記入例：『授業（国語）』『部活動（野球）』等）
 （ ）年（ ）組（ ）番（ ）

1. その活動を通して、自分自身が最も『伸ばすことができた』と実感できた『力』ベスト3を裏面のルーブリック表から3つ選びなさい。また、それを、どのレベルからどのレベルまで伸ばすことができたかも、ルーブリック表から選んで書きなさい。さらに、成長の根拠となるエピソードをそれぞれ記入しなさい（例：授業のこんな活動でこんな体験をした等）。

『力』名		活動後
① 活動前レベル（ ）	→	活動後レベル（ ），その根拠となる活動（できるだけ具体的に詳しく）
② 活動前レベル（ ）	→	活動後レベル（ ），その根拠となる活動（できるだけ具体的に詳しく）
③ 活動前レベル（ ）	→	活動後レベル（ ），その根拠となる活動（できるだけ具体的に詳しく）

2. その活動の中で、最も印象に残った活動は何か、また、そこから何を学び、それが将来、社会で生きていく上でどう活かされると思うか、自由に記述しなさい。

3. 次年度に向けての目標を書きなさい（どの力を、どのような活動で、どこまで引き上げるか）

『力』名	どんな活動を通して	活動後
① 現在レベル（ ）		レベル （ ）
② 現在レベル（ ）		レベル （ ）
③ 現在レベル（ ）		レベル （ ）

この活動を『手段』として、本校が目指す人間像（ルーブリック右端）に近づけるよう積極的に活動を！

鹿児島南高等学校“鹿南高魂”ルーブリック

3年間保存版

		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	目指す姿
基礎力	挨拶・礼儀(基礎人間力)	相手に挨拶されたら挨拶を返す。敬語が使える。	自分から積極的に挨拶をすることができる。敬語の使い分けができる。	校内はもちろん、校外においても自分に関わりのある地域の方や保護者の方々に積極的に声を出して挨拶ができる。	校外において、笑顔で、誰に対しても挨拶ができ、相手の心情や状況に応じた振る舞い(会釈と語先後礼の使い分け等)ができる。	
	思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	授業の内容を教師の説明を聞いて理解する。または定期考査で50点程度取れる。	一度授業で扱ったところの学習内容を復習等見直すことで思い出せる。または定期考査で60点程度取れる。	学習内容がしっかりと定着しており、いつでもそれを引き出すことができる。または定期考査で70点程度取れる。	普段の生活の中で学習内容をいつでも応用させることができる。または定期考査で80点以上取れる。	
	コミュニケーション能力	発表を原稿を読みながら伝える。人の話を静かに聴く。	聞き手の目を見ながら伝えることができる。相手の話を聞きながら要点を整理できる。それに感想を言える。	相手の反応に応じて適切な言葉遣いで伝えることができる。相手の話の要点をまとめ、根拠のある批評や的確な質問をすることができる。	適切な言葉遣いや話術で説得力のあるプレゼンや説明ができる。他者からの質問や批判に真摯に耳を傾け、聞かれたことに的確に答えたり、批判を論破できる。	
	情報収集力	情報源を複数持っている(ほしい情報がどれを調べれば入手できるか知っている)。	観察した状況から問題点や課題を考えようとする。	状況を整理して問題点や課題を他者に伝え、他者からもさらに関連する情報を得ることができる。	整理した状況から次のステップに移る手段を提案できる。	
思考力	想像力・未来を予測する力	物事や行動について、その後の結果を考える習慣が身につけている。	物事や行動の結果を過去の経験や現在の状況を踏まえて考えることができる。	未知の状況を、現在とすることで手段に応じて考えることができる。	未知の状況を、現在とすることで手段に応じて考え、何らかのアクションを起すことまで考えることができる。	他者と協働して社会貢献できる(協力率任) 常にチャレンジ・進化した行動し、(開拓創造) 主体的に考え、能動的に行動し、(独立自尊) 自ら未来を切り拓く
	課題を発見する力	自己の生活や身近な社会について改善したほうが良いと考えていることがある。	自己の生活や身近な社会から、地域社会や世界に拡張して改善したほうが良いと考えていることがある。	改善したほうが良いと考える課題の原因にまで掘り下げてその改善策を追求することができる。	課題の原因や改善策を追求する中で生じる新たな疑問を発見できる。また、改善策を多角的に検討することができる。	
	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	自分の学習状況の理解と不足しているものを理解している。	自分の学習に不足しているものを理解し、それを補うための行動を起こすことができる。	学習計画を立て計画的に克服のプロセスを踏んでいる。	自分の学習計画や学習方法を結果に基づいて検証し、修正を加えながらより良いものにして努力を継続できる。	
	論理的思考力	相手の意見を聞き、自分との共通点・相違点をそれぞれ理解している。	自分との共通点・相違点がそれぞれ生じている理由や根拠を考えることができる。	共通点・相違点の根拠を検討したり、他の解釈や情報の分析をしたりして見解が異なる理由を説明できる。	自分と異なる見解を認めたり、他の視点からの情報を論理的に分析したりしている。さらに、根拠に基づいた多角的な視点で探求している。	
	情報分析力(批判的思考力(クリティカルシンキング))	日常生活の中で『なぜ?』という問いかけをするようにしている。	感じた疑問の解決策を、自分の今現在持っている情報をもとに考えることができる。	感じた疑問の解決策を、複数の情報を批判的に吟味した上で取捨選択し、総合的に考えることができる。	感じた疑問の解決策を考える中で生じる新たな疑問に対しても、同様に批判的な情報吟味によって解決策を考え提案できる。	
	創造する力	自分の考えを持っている。	新しく学んだことや他者の意見・様々なアイデアを活用しようとするることができる。	積極的に求めて得た複数の意見・アイデア・計画を統合し、独自のアイデアを考えることができる。	独創的なアイデアや計画を創造し、他者とともにそれを実現しようとする。	
実践力	情報発信力	伝えたいことを自分の中で思っている。	伝えたいことを一方的に相手に伝えることができる。	伝えたいことを、最も効果的な伝達手段を考えて、それにしたがって伝えることができる。	相手に伝えたいことを聞きながら、さらに情報を修正整理して伝えることができる。	
	課題を解決する力	課題の存在やその内容を理解している。	課題の原因や背景を追究し、解決するプロセスを提案できる。	原因を追究し、解決する様々なプロセスを検討し、1つ以上の解決を提案する。実行可能性についても検討することができる。	原因追究に基づいて解決を提案し、実行可能性や解決のメリット・デメリットについて幅広く考えることができる。	
	未来を切り拓くキャリア設計力	働くことの意味を理解している(職業観の育成がなされている)。将来の進路について考えている。	自己の適性を理解しようとして、進路についての情報を集める等して積極的に模索している。	希望する進路に向けて、自らの進路を切り拓くための課題(学力や教科バランス等)を理解している。	将来の夢の実現のために希望する進路や自己の適性を把握し、進路実現に向けて自らの課題を克服する努力を継続している。	
	主体的な行動力	言われたことを、言われたことの意味を理解したうえで言われたとおり実行する。	言われたことをそのままではなく自分なりの改善を加えて実行できる。また、自分の経験からとるべき行動を考えることができる。	自分がとるべき行動を周囲の状況から判断して自発的にとることができる。チームやメンバーの作業の進捗状況からスケジュール・締切に応じたタイムマネジメントができる。	周囲を巻き込みながら自発的な活動を拡大していくことができる。チームやメンバーの能力や適性に応じて作業を割り振り、適宜必要な修正を加えながら完成まで導く。	
	協働力(チームワーク)	身近なメンバーに助けを求めたり、支援したりできる。	課題解決に向けて行動計画を示したり、他者の提案を受け入れたりし、メンバーに対して肯定的な話し方や表情で接することができる。	課題解決に向けて新たな提案や代替的な考えを示すことができる。メンバーのモチベーションを上げて前進を助ける。	チームで課題解決した成果や手ごたえが持てる。また、チームメンバーがその課題を卓越したレベルで完成するのを率先して支援することができる。	
普通科	グローバルな視野で世界を考え、現代社会の抱える課題を克服に導く力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 地域社会も含む世界に興味関心がある。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 世界の情報や知識を自分のできる範囲の努力で得ている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 世界各地が抱える具体的な課題に対して原因を知り、自分の意見を持っている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 世界が抱える具体的な課題に自分自身がそれに対してどう行動すればよいか考え、行動に移している。	
	経済社会・情報社会の将来に貢献する企業家精神と実行力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 【観る力】相手の立場や考えを尊重し、その形成過程等を的確に捉えることができる。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 【きく力】過不足なく聞き取り(聞く)、話を引き出し(聴く)、根拠適否を確かめるための適切な質問(訊く)ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 【伝える力】要点をまとめ、簡潔に話し、相手に印象づけるための抑揚をつけて話ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 【感じる力】相手の心情を察知し、会話等をおし、相手をよりよく知ることができる。	
体育科	スポーツを通して地域社会や国際社会の未来に貢献する力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 生涯スポーツに向けて、運動やスポーツの技能を高めたり、健康的な生活習慣を身につけたりしている。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 健康やスポーツを社会の中で考えていける力を身につけている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 自らの競技力向上だけでなく、チームや他者の競技力向上にも適切な援助ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 競技者としてだけでなく指導者としてふさわしい資質を身につけている。	